



Title	新SP00Lシステムの紹介
Author(s)	システム管理掛; 業務掛
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1993, 89, p. 17-23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66014
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新SPOOLシステムの紹介

システム管理掛
業 務 掛

1. 概 要

新SPOOLシステムは、EWS4800上(専用端末)で利用出来るユーティリティシステムでフロッピーディスク、磁気テープ媒体等のいろいろなファイル形式のデータをACOS、スーパーコンピュータSX-3R、ワークステーションの磁気ディスクに読み書きを行うことができます。操作は、マウスを中心としたものとなっています。

つぎに、新SPOOLシステムの初期画面を示します。

Convert Device utility (R1.0-02)		○	□
対象装置(S) 印刷(L) コピー(C) ボリュームコピー(V) 削除(D) F D初期化(I)		終了(E)	
モード :	パス名 : /		
入力 :	ファイル件数 : 36件		
装置名 : LOCAL-DISK			
装置番号 :			
ホスト名 :			
ファイル形式 : UNIX			
ファイル名 :			
コード(1バイト) : ASCII			
コード(2バイト) : EUC			
ラベル :			
データ形式 :			
ブロック長 :			
レコード長 :			
出力 :			
装置名 : LOCAL-DISK			
装置番号 :			
ホスト名 :			
ファイル形式 : UNIX			
ファイル名 :			
コード(1バイト) : ASCII			
コード(2バイト) : EUC			
ラベル :			
データ形式 :			
ブロック長 :			
レコード長 :			

属 性	サイズ	日 付	名 前
<現ディレクトリ>			
-rwxr-xr-x	1024	04/06 1993 13:21	.Xdefaults
-rwxr-xr-x	571	04/01 1993 17:42	.cshrc
-rwxr-xr-x	50	03/15 1993 17:39	.login
-rwxr-xr-x	512	03/12 1993 10:52	test1
drwxr-xr-x	8	03/12 1993 10:36	src
drwxr-xr-x	8	04/06 1993 14:11	bin
-rwxr-xr-x	4096	03/12 199 12:00	config

ファイル名入力

ここでは紙面の都合上、操作法については省略いたします。操作法については、新SPOOLシステム横に備え付けの操作法説明書をご覧ください。なお、新SPOOLシステムはセンター本館2F第4TSS室に設置しています。

1. 1 読み書きできる形式は、以下の通りです。

(1) フロッピーディスク(2HDタイプのみ可)

- ①MS-DOS形式
- ②IBM/N5200形式
- ③tar形式

- (2) 1/2インチ磁気テープ (以下MTという)、
1/4インチカートリッジ磁気テープ (以下CGMTという)、
8ミリカートリッジ磁気テープ (以下DATA8ミリという)

- ①tar形式
- ②IBM形式
- ③ANSI形式
- ④FRC形式
- ⑤スプールライブラリ形式

1. 2 対象となる磁気ディスク

従来のSPOOLシステムでは、ACOSのディスクが対象となっていました。新SPOOLでは全てのホスト上の磁気ディスクが対象となります。ただし読み書き出来る形式の制限がありますので "3. 機能説明" をご覧ください。

- (1) ACOS
- (2) スーパーコンピュータSX-3R
- (3) ワークステーション

2. 媒体の規格

(1) フロッピーディスク

3.5インチ
5インチ いずれも2HDタイプ (2DDは不可)

(2) CGMT

QIC-120/QIC-150
QIC-120/QIC-150/QIC-525

参考) QIC-120は読むことは可能ですが書き込みは不可
QIC-150 (600フィート) で約150MB

(3) MT

テープ長 : 600, 1200, 2400フィート
記録密度 : 1600または6250BPI

参考) 2400フィート、6250BPIで約160MB

(4) DATA8ミリ

ECMA145準拠

参考) 例えば"NEC製8mmデータカートリッジ2.4GB"で約2.4GB

3. 機能説明

つぎに、新SPOOLシステムで利用できる各種機能を次表に表示します。○印が利用可能な機能を示しています。なお、各入出力装置で、フロッピーディスクをFDD、1/2インチ磁気テープをMT、1/4インチCGMT・8ミリカートリッジ磁気テープをCGMT、磁気ディスクをDISKと表示します。

(1) 媒体初期化機能

装置	ファイル形式	機能	備 考
MT/ CGMT	t a r		書き込み時に新規作成にて行う
	A N S I		"
	I B M		"
	F R C		"
	ライブラリ		"
FDD	t a r	○	物理的初期化 256K' 1t/セク
	I B M	○	" /論理的初期化 256K' 1t/セク
	D O S	○	" 1024K' 1t/セク

(2) ファイル情報出力機能

装置	ファイル形式	機能	備 考
MT/ CGMT	t a r	○	ファイル名、作成日等の情報
	A N S I	○	ファイル番号、ファイル名等の情報
	I B M	○	"
	F R C	○	
	ライブラリ	○	ファイル番号、ファイル名等の情報
FDD	t a r	○	ファイル名等表示
	I B M	○	"
	D O S	○	"
DISK	U N I X	○	ファイル名等表示
	A C O S 6	○	"

スーパーコンピュータSX-3RとワークステーションはUNIXと表示します。

(3) ボリュームコピー機能

装置	装置名	MT	C G M T				FDD	備 考
		1/2MT	1/4CGMT	525CGMT	DATA8mm	2HD		
MT	1/2MT	○						
CGMT	1/4CGMT		○					
	525CGMT			○				
	DATA8mm				○			
FDD	2HD					○		

525CGMTはQIC-525を示します。

(4) ファイル削除機能

フロッピーディスクの場合、MS-DOSおよびIBM形式のファイル削除が、おこなえます。また、各ホスト上の磁気ディスクファイルも削除することができます。

(5) ファイルコピー機能

入出力機能対応表 (1)

入力 出力		装置	M T / C G M T				
装置	ファイル形式		t a r	A N S I	I B M	F R C	ライブラリ
MT/ CGMT	t a r						
	A N S I						
	I B M						
	F R C						
	ライブラリ						
FDD	t a r						
	I B M						
	D O S						
DISK	A C O S 6			○	○	○	○
	他U N I X系	○	○	○	○		○
	LOCAL-DISK	○	○	○	○		○

入出力機能対応表 (2)

入力 出力		装置	F D D			D I S K		
装置	ファイル形式		t a r	I B M	D O S	A C O S 6	他U N I X系	LOCAL-DK
MT/ CGMT	t a r						○	○
	A N S I					○	○	○
	I B M					○	○	○
	F R C					○	○	○
	ライブラリ					○		
FDD	t a r	○					○	○
	I B M			○	○	○	○	○
	D O S			○	○	○	○	○
DISK	A C O S 6			○	○			○
	他U N I X系	○	○	○	○			○
	LOCAL-DISK	○	○	○	○	○	○	○

LOCAL-DISK, LOCAL-DKは新SPOOLシステムの磁気ディスクを指します。"他U N I X系"はスーパーコンピュータSX-3Rとワークステーションを指します。

(6) コード変換

① テキストデータ

装置	ファイル形式	1バイト系	2バイト系(漢字)
MT/ CGMT	t a r	EUC	EUC
	ANSI	JIS8	JIPS(J)
	IBM	EBCDIC	JIPS(E)
	FRC	JIS8	JIPS(J)
	ライブラリ	JIS8	JIPS(J)
FDD	t a r	EUC	EUC
	IBM	EBCDIC	JIPS(E)/NEC INTERNAL
	DOS	JIS8	シフトJIS
DISK	UNIX	EUC	EUC
	ACOS6	JIS8	JIPS(J)

備考

1. JIPSコードの場合、JIPSコードの初めにシフトイン'1A70'(16進)及び終わりにシフトアウト'1A71'(16進)を使用しているものとします。
JIPS(E)は、EBCDICコードで表現しJIS(J)はJISコードで表現している事を意味します。
2. NEC INTERNALコードは、N5200系で使用している2バイト系コードを意味します。

注意

1バイト系コードに関しては、その他にユーザサイト定義したコードファイルに従って変換する方法が選択できます。(HITAC/FACOM等)

② バイナリデータ

装置	ファイル形式	ビット/バイト
MT/ CGMT	t a r ANSI IBM ラベル無し	8
	FRC ライブラリ (ACOS6系)	9
FDD	t a r IBM DOS	8
DISK	UNIX系	8
	ACOS6系	9

4. 注意／制限事項

(1) 磁気テープ装置 (MT, CGMT, DATA8ミリ) の制限事項

①データ形式指定

CGMTは、固定長のみ指定可能です。(他を選択しても固定長となります)

②ブロック長指定及びレコード長

CGMTは、512の倍数で指定してください。(512の倍数でないときは512の倍数でまるめられます)

MT、DATA8ミリは、1～64kバイト迄指定可能です。

CGMT (QIC-525) は、1～32kバイトまで指定可能です。

③新規作成／追加モード指定

CGMTは、追加モードは選択出来ません。(追加を指定しても新規作成となります)

④記録密度指定

MT、CGMTのみ指定可能です。(他は指定しても無視されます)

MTは、6250BPI、1600BPIが指定可能です。

CGMTは、記録密度指定は、新規作成のみ有効で読み込み及び追加は無視されます。
(テープに記録されている記録密度に自動的に設定されます)

(2) 使用できるフロッピーディスク媒体について

媒体は、全て2HDタイプです。

形 式	バイト/セクタ	セクタ/トラック	備 考
IBM形式	256バイト/セクタ	52セクタ/トラック	※ トラック0の1～26セクタは128バイト
MS-DOS形式	1024バイト/セクタ	16セクタ/トラック	
tar形式	512バイト/セクタ	30セクタ/トラック	

(3) ファイル形式による制限

tar形式のブロック長は512の倍数でレコード長は、512バイト固定となります。
他の値を指定しても無効となります。

(4) ファイル形式に対するファイル名について

形式	装置	ファイル名規則	ファイル規則
UNIX系	ディスク	100文字(ディレクトリ情報含む)	ファイルシステムにより異なる
ACOS6 FRC、ライブラリ	ディスク MT	英数字12文字(英字大文字)	同左
tar	MT、FD	100文字(ディレクトリ情報含む)	”
IBM、ANSI	MT	英数字17文字(大文字)	”
MS-DOS	FD	12文字(英字は大文字で'.'含む)	”
IBM	FD	英数字カナ8文字(英字大文字)	”
ラベル無し	MT	無し	”

備考 コピー先のファイル名表示について

コピー先のファイル名は、コピー元のファイル名をそのまま表示します。但し、ラベル無し形式の場合は、何も表示されません。従って、コピー先のファイル名は、上記規則に従って修正する必要があります。

(5) ファイル情報表示件数について

画面上に表示できるファイルの最大件数は、5000件となっています。

(6) ACOS6 TSSの”..INIT”ファイルの内容について

ACOS6接続は、”TELNET(TSS)”を利用しているため”..INIT”ファイルの内容に以下の制限があります。

①問い合わせ等の処理を定義しないでください。

②終了時は必ずサブシステムコマンド(SYSTEM ?)に戻らなければなりません。
(”CARD N” 等のまま終了しないでください)